



インターネットでの情報提供
提供予定日 平成24年7月12日

平成24年7月11日(水) 県政記者クラブ配付資料			
担当課	係(担当)	担当者氏名	電話番号
現代陶芸美術館	学芸部	佐野 素子	0572-28-3100

『ぎふ清流国体・ぎふ清流大会開催記念特別展 岐阜県ゆかりの人間国宝 - 美濃陶芸の系譜』開催のお知らせ

岐阜県現代陶芸美術館では、ぎふ清流国体・ぎふ清流大会開催にあわせて、県にゆかりのある国重要無形文化財保持者(いわゆる人間国宝)及び岐阜県重要無形文化財保持者の陶芸家たちの作品を一堂に集めて紹介する展覧会を開催します。

県内外から多くの方々が本県を訪れるこの機会に、美濃焼という長い歴史をもつ大きなやきものの産地で、その歴史を背景に、高く優れた技と創造が育まれていることを広く紹介します。

- ・同館収蔵品に加え、近隣を中心に県内施設や作家本人から借用した約70点を出品し、これまで包括的に取り上げることのなかった国、県指定の重要無形文化財保持者の陶芸家たちについてとりまとめ、来館者にわかりやすく紹介します。
- ・人間国宝は、1955年に「志野」と「瀬戸黒」で第1次の保持者認定を受けた荒川豊藏氏以降、平成22年「瀬戸黒」で保持者認定された加藤孝造氏までの6名を、また、岐阜県重要無形文化財保持者は、今年の3月に認定されたばかりの林正太郎氏までの8名をその作品とともにご紹介します。

展覧会概要

- 会 期 平成24年8月4日(土)～12月24日(月・休)
- 会 場 岐阜県現代陶芸美術館 ギャラリー
住 所：多治見市東町4-2-5(セラミックパークMINO)内
TEL：0572-28-3100
- 時 間 午前10時～午後6時(ただし、入場は午後5時30分まで)
- 休館日 月曜日(月曜が休日の場合はその翌平日)
- 観覧料 一般 320円(260円) 大学生 210円(160円) 高校生以下無料
()内は20名以上の団体料金
11月3日(土・祝)は文化の日のため無料開放となります。
- 主 催 岐阜県現代陶芸美術館
共 催 中日新聞社
- 出品点数 約70点
- 出品作家 国重要無形文化財保持者(人間国宝)6名、岐阜県重要無形文化財保持者8名、特別出品2名、計16名の陶芸家たちの作品を紹介します。

【国重要無形文化財保持者】（人間国宝）6名 指定・認定年順

保持者	指定・認定年	重要無形文化財	備考
荒川豊藏（1894 - 1985）	1955年	志野	多治見市生まれ
	1955年	瀬戸黒	
加藤士師萌（1900 - 1968）	1961年	色絵磁器	愛知県瀬戸市生まれ。岐阜県陶磁器試験場勤務の時期あり。
塚本快示（1912 - 1990）	1983年	白磁・青白磁	土岐市生まれ 1973年、「青白磁」で岐阜県重要無形文化財保持者に認定
鈴木藏（1934 - ）	1994年	志野	土岐市生まれ
加藤卓男（1917 - 2005）	1995年	三彩	多治見市生まれ 1983年、「三彩」「虹彩」「青釉」で岐阜県重要無形文化財保持者に認定。
加藤孝造（1935 - ）	2010年	瀬戸黒	瑞浪市生まれ 1995年、「志野」「瀬戸黒」で岐阜県重要無形文化財保持者に認定。瀬戸黒が国重要無形文化財となったため、現在は「志野」で岐阜県重要無形文化財保持者認定されている。

【岐阜県重要無形文化財保持者】8名 指定・認定年順

保持者	指定・認定年	重要無形文化財	備考
加藤十右衛門（1894 - 1974）	1958年	黄瀬戸	多治見市（笠原町）生まれ。「加藤重右衛門」名で認定。
	1958年	黒織部	
	1958年	美濃伊賀	
加藤景秋（1899 - 1972）	1958年	志野	土岐市生まれ
	1958年	織部	
林景正（1891 - 1988）	1958年	黄瀬戸	土岐市生まれ
五代加藤幸兵衛（1893 - 1982）	1973年	青磁	多治見市生まれ
若尾利貞（1933 - ）	2003年	志野	多治見市生まれ
安藤日出武（1938 - ）	2003年	黄瀬戸	多治見市生まれ
玉置保夫（1941 - ）	2008年	織部	多治見市生まれ
林正太郎（1947 - ）	2012年	志野	土岐市生まれ

加藤孝造氏は現在も指定名称「志野」で岐阜県重要無形文化財保持者に認定されていますが、同じく県重要無形文化財保持者認定されていた塚本快示氏、加藤卓男氏とともに、その県指定技術の作品は、国重要無形文化財保持者として紹介する作品とあわせて紹介します。

保持者認定は死去により解除されるため、上記表による本展出品作家リストは現在の保持者認定数の実数とは異なります。

【特別出品】2名

富本憲吉（1886 - 1963）	奈良県生まれ。国重要無形文化財「色絵磁器」保持者（人間国宝）。荒川豊藏と同じ第一次国重要無形文化財の指定・認定で、保持者に認定。戦中、高山に疎開。
小山富士夫（1900 - 1975）	岡山県生まれ。陶磁研究者・陶芸家。晩年、土岐市に花ノ木窯を築窯し過ごす。戦後、文化財保護委員会に勤務し、人間国宝制度の創設をはじめ文化財行政を手掛ける。

関連企画

座談会「父、祖父を語る」 参加無料

- ・日 時：9月1日(土) 13:30～15:30
- ・会 場：岐阜県現代陶芸美術館プロジェクトルーム
- ・司 会：榎 本 徹(岐阜県現代陶芸美術館館長)
- ・パネリスト：塚 本 満 氏(故塚本快示氏長男・陶芸家)
鈴木 徹^{てつ} 氏(鈴木藏氏長男・陶芸家)
加藤良造氏(加藤孝造氏次男・日本画家)
加藤亮太郎氏(故加藤卓男氏孫・陶芸家)

文化の日スペシャル・ギャラリートークリレー 当日は文化の日のため観覧無料

館長、副館長による特別ギャラリートーク。人間国宝から若手新進作家まで、二つのギャラリートークに参加すれば、1日で美濃の陶芸がまるわかり?!

日時：11月3日(土)

[Part = 岐阜県ゆかりの人間国宝展]

- ・時間：13:30～14:30
- ・講師：榎本徹館長
- ・会場：ギャラリー

[Part = MINO CERAMICS NOW 2012(同時開催展)]

- ・時間：15:00～16:00
- ・講師：渡部誠一副館長
- ・会場：ギャラリー

学芸員によるギャラリートーク 観覧券が必要

展示会場で学芸員が展示解説をします。

日時：8月11日(土)、9月8日(土)、10月13日(土)・・・10:30～
11月10日(土)、12月8日(土)・・・・・・・・・・・・・・13:30～

ボランティアスタッフによるギャラリートーク 観覧券が必要

展示会場でボランティアスタッフが展示解説をします。

日時：毎週日曜日 11:00～、15:00～